

## 海外安全対策情報（平成27年7月～9月）

### 1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2015年1月1日から3月31日までのベラルーシにおける犯罪総数は23,292件で、昨年同時期と比較し2.9%増加しています。未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

|              |                  |
|--------------|------------------|
| ア 窃盗         | 9,261件（前年比0.3%増） |
| （うち住宅対象侵入窃盗） | 2,702件（同3.8%増）   |
| イ 公然窃盗       | 597件（同0.7%増）     |
| ウ 恐喝         | 38件（同26.7%増）     |
| エ 詐欺         | 840件（同22.3%減）    |
| オ フーリガン犯罪    | 919件（同42.7%増）    |
| カ 殺人及び殺人未遂   | 102件（同9.7%減）     |
| キ 重傷傷害       | 225件（同10.7%減）    |
| ク 強盗         | 77件（同14.9%増）     |
| ケ 強姦及び強姦未遂   | 28件（同9.7%減）      |

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2015年7月～9月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 7月6日、ミンスク市バス車内にて乗客間で口論が発生し、うち一人が相手をナイフで刺した。バスの運転手やその他乗客が犯人を取り押さえ、武器を押収した。事件は調査中である。また、被害者は治療中で、命に別状はない。

イ 7月20日、ミンスク市の森林公園内にて、暴行の痕跡のある男性の遺体が発見された。被害者は深夜に3人の男と口論になり、暴行を受けたことが判明し、犯人らは22日に全員拘束された。

ウ 7月26日、ミンスク市オリシェフスキー通りに面する商店に男が立ち寄り、拳銃のよ

うなもので店員を脅し、店の売上金を要求した。店員は 99 万ベラルーシ・ルーブル（約 58 米ドル）を渡し、タイミングを見計らい従業員用出入り口から店外へ逃げ出したところ、犯人もまた、店員を追いかけて来た。現場には警察官が居合わせたか、犯人は警察官に銃を向けて脅し、逃走をはかった。警察官は、犯人に銃を置き止まるよう繰り返したが、逃走を続けた。犯人が威嚇射撃にもひるまなかったため、警察官は犯人の足に向けて発砲した。犯人は病院での治療の後拘束された。

エ 8 月 3 日、ミンスク市トロリーバス内で、酩酊状態の 55 歳の男が 60 歳の男性をナイフで切りつけ、逃走するという事件が発生した。犯人は警察により犯行現場付近で拘束された。被害者は救急搬送されたが、生命に別状はない。

オ 8 月 6 日、ミンスク市にて、ナイフで人を襲った男が拘束された。犯人は、事件前にとあるものを嗅いだところ（当館注：麻薬と思われる）、ナイフを手に取り、人を襲えと命令する声が聞こえたため、そのとおりに実行したと供述している。

事件の内容は次のとおり。コスモナトフ通りにて、客を待っていたタクシー運転手が、犯人がナイフで女性に襲いかかろうとしていることに気づき、ヘッドライトやエンジン音で犯人の注意をひいた。女性は逃げ、犯人は同運転手に襲いかかったが、運転手は攻撃をかわすことが出来た。ナイフがタクシーに当たり使えなくなったため、犯人は逃走したが、運転手の通報で現場に急行した警察により拘束された。

### 3 テロ・爆弾事件の発生状況

8 月 9 日、ミンスク市ロゴイスキー・トラクト地区にて、RGD5 手榴弾の信管と軍用カートリッジ爆薬 2 つが発見された。現場には工兵のグループ駆けつけ、調査の後爆発物は警察に引き渡された。事件は捜査中である。

### 4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

### 5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。